

「与板地域委員会への想い」…期待すること

23.5. 与板支所長

1 与板地域への想い

〔1〕 天地人の効果は

平成 21 年、天地人の放映で、全国から 27 万人のお客さんをお迎えした。〔40 年間分の観光客〕

全国からおいでいただいたお客さんからは、与板の素晴らしさと感動をお持ち帰りいただいたと考えています。

一方、与板の住民の皆様からは、与板の持つ財産の奥深さと、おもてなしの喜びを体験されたと思います。

〔2〕 与板には大切な財産が多くある

①城下町としての歴史・伝統・文化が息づくまち

②400 年の伝統を受け継ぐ、与板打刃物の「匠の技」

③与板を大好きだという住民の熱い思い

ア、住民主体による、地域力、市民力を活かした活動が活発に行われてきている。

ライトアップ事業、ビールフェスタ、まちの駅よいたの運営、歴史研究 等…その他にも、「さしみでおいしい馬越の竹の子」、「鎌倉時代につくられた阿弥陀様を大切にお守りしている山沢の人たち」など、数多くの素晴らしい資源がある。

イ、町内会等を単位とした、強い絆と、良好な隣近所の関係が存在している。

〔3〕 今後のまちづくり

与板の大切な財産を広く発信するとともに、

「さらに、住み良いまち与板を実現する」ため、コミュニティを推進したい。

2 「まちづくりを考える」とは…地域委員会へ期待すること

① 昭和初期頃までは、普通に、どこでもでもまちづくりの話し合いが行われていた。

② 自分たちのまちは自分たちでつくる。地域の子どもは地域が守るということは当然のことであった。…良好な環境をみんなが守ってきた

③ しかし、その後、経済状況の変化、国際化、核家族化の進展等により、「みんなで、まちづくりを考える」ということは限られたものになってきた。

…「自分のまち」に対する意識が大きく変化

④ 安全・安心のまちづくり、満足度の高いまちづくりの基本は、多くの住民の意見をまとめることと行動連携が必要である。

⑤ 地域委員会は、合併の不安感の解消と新市一体感の醸成のために設置されたものであるが、

⑥ 今こそ、与板地域の特色である、素晴らしい人材・資源を活かしたまちづくりを行うビッグチャンスのときであると考えています。

…与板の素晴らしさ〔与板らしさ〕を次の世代につなげるために